



観光の振興

県内での宿泊客の増加

主担当部局：観光局

経済の活性化



奈良大立山まつり(平城宮跡)

目指す姿

宿泊客を県内に呼び込み、観光消費額を増やすため、奈良の奥深い魅力をブランディングし、ゆっくりじっくりと楽しめる観光県を目指します。

目標

平成31年までに、
観光入込客数を

4,200万人[▲]
にします。

(平成26年:3,811万人)

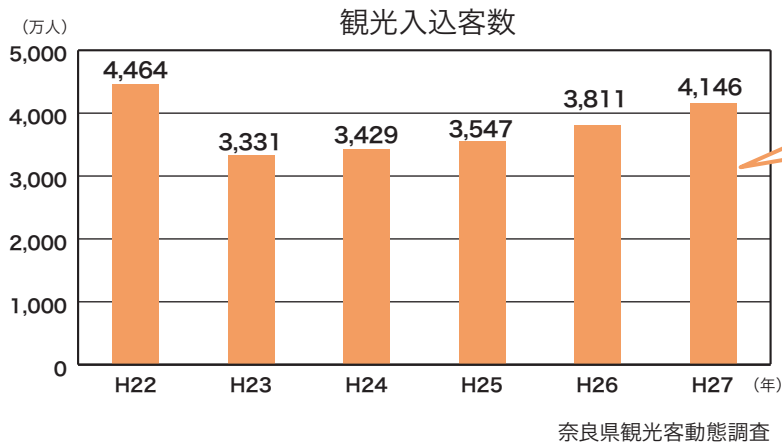
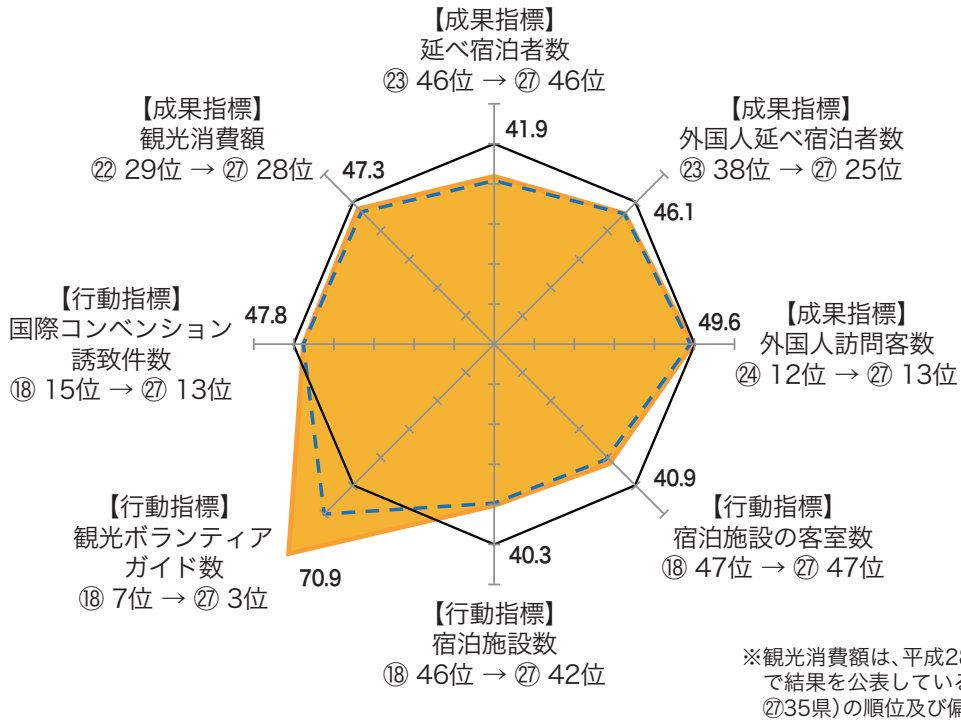
平成31年までに、
延べ宿泊者数を

280万人[▲]
にします。

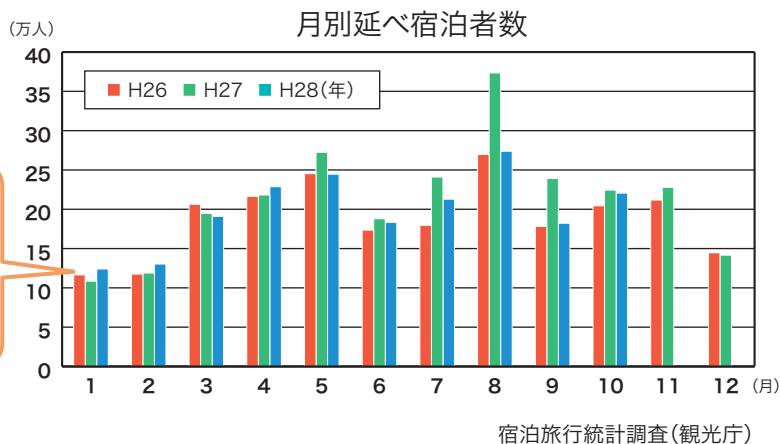
(平成26年:227万人)

分 析

● 主な指標



平城遷都1300年祭の反動や、東日本大震災・紀伊半島大水害等の災害の影響により、一時落ち込みが見られましたが、プロモーションの取組等により増加しています。



宿泊者数は8月が一番多く、1月・2月のオフシーズンは、8月の半数以下となっています。

東京オリンピック・パラリンピック後を見据え、外国人誘客の地力をつけることを中心に、観光誘客の強化に取り組みます。(誘客のためのプロモーション)

担当課：観光局 観光プロモーション課

戦略目標

▶ 平成31年までに、外国人訪問客数を140万人にします。(平成26年:66.4万人)

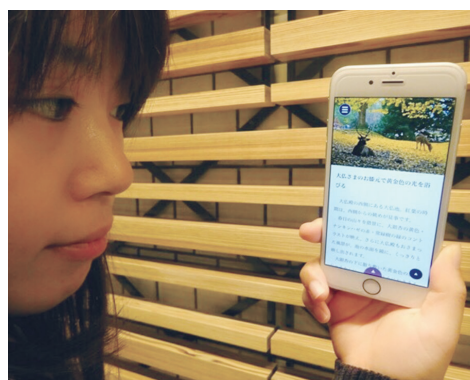
取組

項目	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度
官民一体となった外国人観光客の誘致				
ビジット・ジャパン事業を活用した海外プロモーションの展開		関係府県等と連携実施		
海外観光プロモーター・旅行商品コーディネーターによる海外からの誘客		プロモーター・コーディネーターと連携実施		
外国人富裕層市場の開拓		海外プロモーション実施		
訪日教育旅行の推進		学校交流の推進		
首都圏からの誘客の促進				
首都圏での情報発信		奈良まほろば館、主要駅等での奈良の魅力の効果的な情報発信		
奈良県観光キャンペーンの展開		年2回(春・秋)実施		
多様な媒体を活用した海外に向けた情報発信				
海外メディア等を活用した情報発信		ウェブサイト等活用・コンテンツ作成		
多彩なツールを利用した情報発信				
デジタルサイネージ等による観光情報等の発信		タイムリーな情報発信		
各種メディアを活用した情報発信		インターネット、雑誌、スマートフォン等による情報発信		

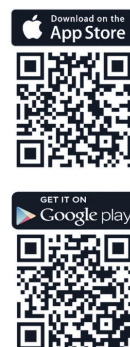
項目	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度
積極的なMICE誘致の推進				
官民連携による国際会議等の誘致推進		奈良県国際会議・国内会議誘致推進本部による会議等の誘致		
世界観光機関(UNWTO)アジア太平洋センターとの連携		UNWTO関連の国際会議等の誘致		
コンベンションの誘致		セールス活動・開催支援		
団体旅行・修学旅行の誘致				
団体旅行の誘致促進		年金ファムトリップ、団体旅行担当者へのセールス等		
修学旅行の誘致促進		教員向けファムトリップの実施、エージェンツへのセールス等		
中南和の魅力振興				
雑誌、Web、映像等による情報発信		様々な媒体による情報発信		
三重県・和歌山県と連携した「吉野・高野・熊野の国」展開		誘客に向けた情報発信の実施		
吉野町・天川村・十津川村と連携した宿泊観光の促進		誘客に向けた情報発信の実施		
「Kobo Trail～弘法大師の道」の開催支援		「弘法大師の道」を活用したトレイルランニングレースの開催支援		
観光振興に資する道路整備の推進		観光地へのアクセス性の向上		



年金ファムトリップ(葛城市相撲館の見学)



観光情報配信アプリ「奈良こよみ/72 Seasons Nara」



オフシーズンの宿泊観光客を増やすため、イベントをさらに発展・充実させるとともに、新たな冬の周遊型観光の展開を図りながら、観光消費に繋がる誘客を促進します。(オフ期イベントの活性化)

主担当課：観光局 観光プロモーション課

戦略目標

- ▶ 平成31年までに、オフシーズン(12月～2月、6月・7月)延べ宿泊者数を105万人にします。(平成26年:73万人)
- ▶ 平成31年度までに、「うまし奈良めぐり」商品販売人数を10,000人にします。(平成27年度:3,458人)

取組

項目	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度
オフシーズンにおける誘客促進				
奈良県観光キャンペーンの展開(再掲)		年2回(春・秋)実施		
県内版destinationキャンペーンの展開		年2回(冬・夏)実施		
「奈良大立山まつり」の開催		継続開催		
「なら瑠璃絵」の開催		「なら瑠璃絵」、「冬花火の祭典」の開催		
「なら燈花会」等の開催		「なら燈花会」、「ライトアッププロムナード・なら」の開催		
「グレート・サマーフェス For タ-you-」の開催		継続開催		
旅行商品の造成・セールス強化				
「うまし奈良めぐり」の商品造成・販売		商品造成・販売、セールスの強化		
奈良だからこそできる音楽祭の開催				
「ムジークフェストなら」の開催		継続開催		
祈りの回廊～秘宝・秘仏特別開帳の推進				
		パンフレットの発行、特別開帳の実施		
スポーツツーリズムの推進				
奈良マラソンの開催による国内外からの誘客促進		継続開催		
全国高校ラグビー(花園ラグビー)大会出場校選手等の県内への宿泊誘致		セールス・おもてなしの実施		



奈良大立山まつり(平城宮跡)



なら瑠璃絵(奈良春日野国際フォーラム豊)



なら燈花会(奈良公園)



奈良マラソン2016

観光客の満足度を上げるため、特に、「食」「宿泊」「土産物」の各分野の観光事業者のおもてなし力を向上させます。(ホスピタリティの向上)

主担当課：観光局 ならの観光力向上課

戦略目標

- ▶ 平成31年までに、**宿泊観光客の1人当たりの消費額単価を28,000円**にします。(平成27年:25,683円)
- ▶ 平成31年までに、**日帰り観光客の1人当たりの消費額単価を5,000円**にします。(平成27年:4,363円)

取組

項目	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度
ホスピタリティの向上				
観光サービス向上委員会の運営		● 委員会運営、サービス向上ノウハウを事業者にフィードバック		
外国人観光客向けの受け入れ・おもてなし環境の整備				
ハイレベルなおもてなし対応ができる人材の育成		研修実施、育成活用		
猿沢池周辺のにぎわい創出 ・外国人観光客文化体験イベントの実施		日本文化体験イベントの実施		
多言語コールセンターの運営		登録者増加		
外国人観光客向け着地型ツアーの造成・実施		外国人観光客交流館発着ツアーの実施、市町村等のツアー造成支援		
奈良のおいしい「食」づくり				
奈良フードフェスティバルの開催		継続開催		
眺望のいいレストランのPR		情報提供		

項目	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度
ぐるっとオーベルジュの推進				
南部地域・東部地域等における公設民営のオーベルジュの整備支援			整備支援	
「魅力ある奈良の土産物」の創出・発掘・発信				
県産材を利用した土産物等の開発・販売	新商品開発、PR	県内・首都圏等でのPR		販売
まちをきれいにする取組の推進				
奈良の景観創造の推進		奈良県植栽計画(「なら四季彩の庭」づくり)の推進		
自転車を利用した取組の推進				
広域的な自転車利用ネットワークの整備		京奈和自転車道の整備推進		
自転車利用環境の創出		サポート施設の充実、レンタサイクルの推進		
農村周遊自転車ルート	測量・調査実施設計		整備工事	



県産材を利用した土産物等の開発



奈良フードフェスティバル

主要プロジェクト
4 戦略 4

意欲ある宿泊施設の取組を支援するとともに、誘致に向けた取組を強化し、宿泊施設の質と量を充実させます。(宿泊施設キャパシティの向上)

主担当課：観光局 ならの観光力向上課

戦略目標

▶ 平成32年までに、**県内宿泊施設の客室数を10,200室**にします。(平成27年:9,051室)

取組

項目	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度
宿泊施設の量・質の向上				
多様な宿泊施設の創出と宿泊施設の新たな魅力づくりを総合的に支援	融資制度等による創業・設備充実支援			
農家民宿への支援	開業支援、情報発信			
民泊サービスの提供	制度構築・運用			
宿泊施設跡地の発掘	更地、廃業施設等の把握・活用			
物件情報のデータベース化	データベースの構築・運用			
事業者へのセールス・マッチング	大手ホテルやデベロッパーへの営業等			
大宮通りプロジェクト				
猿沢池周辺のにぎわい創出 ・奈良県外国人観光客交流館(奈良県猿沢イン)の整備・運営	整備・運営	運営		
ホテルを核としたにぎわいと交流拠点の整備 ・大宮通り新ホテル・交流拠点の整備	設計	整備の推進		



奈良県外国人観光客交流館(奈良県猿沢イン)



大宮通り新ホテル・交流拠点の整備(イメージ図)

奈良を訪れた観光客が快適に周遊できる案内環境を整えるとともに、「本物の奈良」に感動されることによりファン、リピーターを増やします。
(案内力・説明力の向上)

主担当課：観光局 ならの観光力向上課

戦略目標

▶ 平成31年までに、観光入込客数に占める宿泊者の割合を12.1%にします。(平成27年:11.2%)

取組

項目	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度
案内力・説明力の向上				
外国人観光客もてなし対応研修		研修実施		
Wi-Fiスポットの設置促進		スポットの拡大推進		
質の高い通訳ガイド等の育成・活用		研修実施、育成活用		
案内サインの整備促進				
観光案内サインの充実		統一した案内表示の整備推進		
多言語表示の推進		多言語を表示した観光案内サインの整備推進		
奈良盆地周遊型ウォークルートの造成				
		ウォークルートの造成、案内サインの整備		
中南和・東部地域の観光情報発信機能強化				
		JAならけんまほろばキッチン内観光案内所における情報発信		

主要プロジェクト
5



天平たなばた祭り 天平七夕行列



春日原始林の保全

項目	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度
6 大宮通りプロジェクト				
奈良公園の魅力向上				
・自然資源の保存		奈良公園植栽計画・春日山原始林保全計画の策定・実施 奈良のシカ保護管理計画の策定・実施		
・公園資源の利活用		吉城園周辺整備や鹿苑の改修等		
・移動の円滑化		歩道整備の推進 電子案内板の設置・運営		
猿沢池周辺のにぎわい創出(再掲)				
・外国人観光客文化体験イベントの実施		日本文化体験イベントの実施		
・奈良県外国人観光客交流館(奈良県猿沢イン)の整備・運営	整備・運営		運営	
県庁舎周辺の整備				
・(仮称)登大路バスターミナルの整備等		整備の推進		
ホテルを核としたにぎわいと交流拠点の整備(再掲)				
・大宮通り新ホテル・交流拠点の整備	設計		整備の推進	
平城宮跡歴史公園の整備促進とにぎわいづくり				
・拠点ゾーンの整備促進		整備の推進 (平成29年度朱雀大路西側地区等 完成予定)		
・平城宮跡におけるにぎわいの創出		イベント実施(平城京天平祭(春・夏・秋))		
・阿倍仲麻呂”遣唐”1300年記念プロジェクト	イベント実施		映像の公開	
大宮通りの修景整備		イルミネーション、花壇、街路樹による修景整備		
大宮通りを中心とした交通対策				
・ぐるっとバスの運行等		主要鉄道駅と奈良公園や平城宮跡等の観光拠点を結ぶバスの通年運行		
近鉄奈良駅周辺における環境整備				移動環境や駅周辺景観の向上への取組

これまでの成果

★ 歴史的資源等地域の特性を活かした内容やインターネット等様々な媒体を活用したPR活動により、平成28年度に県内で開催されたイベントに多くの来場者がありました。

- 平城京天平祭(春)(5/3~5/5) 4万2千人、天平たなばた祭り(夏)(8/26~8/28) 4万4千人、みつきうまし祭り(秋)(10/29~11/6) 15万5千人
- ムジークフェストなら2016(6/11~6/26) 11万2千人
- なら燈花会(8/5~8/14) 91万1千人
- 奈良マラソン(12/10~12/11) 1万7千人
- 奈良大立山まつり(1/25~1/29) 2万6千人
- 若草山焼き(1/28) 18万人
- なら瑠璃絵※(2/8~2/14) 41万2千人

※H27年度の実績

- 外国人観光客の交流拠点奈良県外国人観光客交流館(奈良県猿沢イン)の観光案内所を平成27年7月に、宿泊施設を平成28年12月にオープンし、10万5千人の来館がありました。(平成28年12月現在)

主な指標の動き

●よくなっている指標

延べ宿泊者数

2,028千人 (平成23年 全国46位) → 2,553千人 (平成27年 全国46位)

オフシーズン対策等の取組を行ったことにより、延べ宿泊者数は増加しました。

外国人延べ宿泊者数

35千人 (平成23年 全国38位) → 259千人 (平成27年 全国25位)

海外プロモーション活動を強化したこと等により、外国人延べ宿泊者数は大幅に増加し、全国順位も上昇しました。

外国人訪問客数

285千人 (平成24年 全国12位) → 1,033千人 (平成27年 全国13位)

官民一体となった外国人観光客の誘致等により、外国人訪問客数は増加しました。